



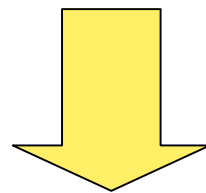
# 少人数体制での 学術情報リテラシー教育への 取り組み

ひとりでも図書館スタッフ増やしてえ〜！！



## 2班各館の実情

- 情報リテラシー教育専任担当者がいない
- 主担当業務が忙しい
- 担当職員のスキルにバラツキがある
- 内容が適切であるか不安
- どの程度効果があがっているかわからない



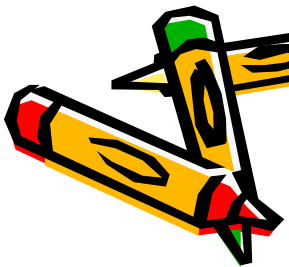
少人数で継続的に効果的な情報リテラシー教育をどのように確立するのか



# 少人数対策

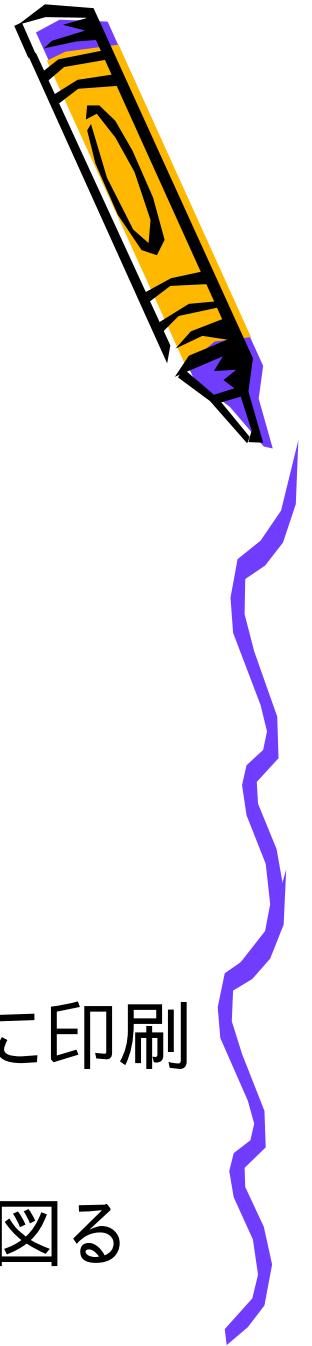


- 年間スケジュールの業務量を考慮して準備に取り組む
  - ・長期休業期間などに知識を深めたり、素案を立てる
- 講習会のスタイルの工夫
  - ・事務室と近い場所に講習会場を設ける
  - ・講習時間を短くする
  - ・開始時間を授業の開始時間に合わせる

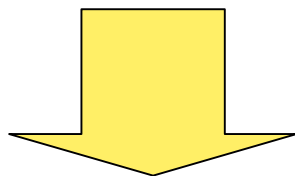


## 継続・効果的なガイダンスのために

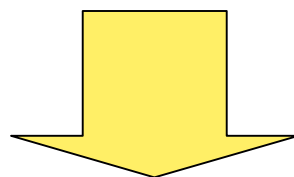
- 評価をおこない次回に活用する
  - ・主担当・副担当制
    - 単なる補助ではなく評価者として参加
  - ・チェックシートの活用
- プログラムを体系的に構築する
- PR広報
  - ・多様な広報を考える
    - 学生の興味を引くチラシ・デイトスリップに印刷
    - メール 教員への個人的アタック など



地道に小さな講習会を積み上げる



“よかった！”という参加者の声を拾い集める(アンケート)



実績をもって、予算化にこぎつけ、  
図書館スタッフを増員する

